

精神障害者の 住居の確保のための実態調査

不動産業者へのアンケート調査

宮崎県延岡保健所

山内 裕子

調査概要

目的

精神障害者への賃貸の実態を把握し、
障害者の住宅確保のための方法を考える。

方法

郵送によるアンケート調査

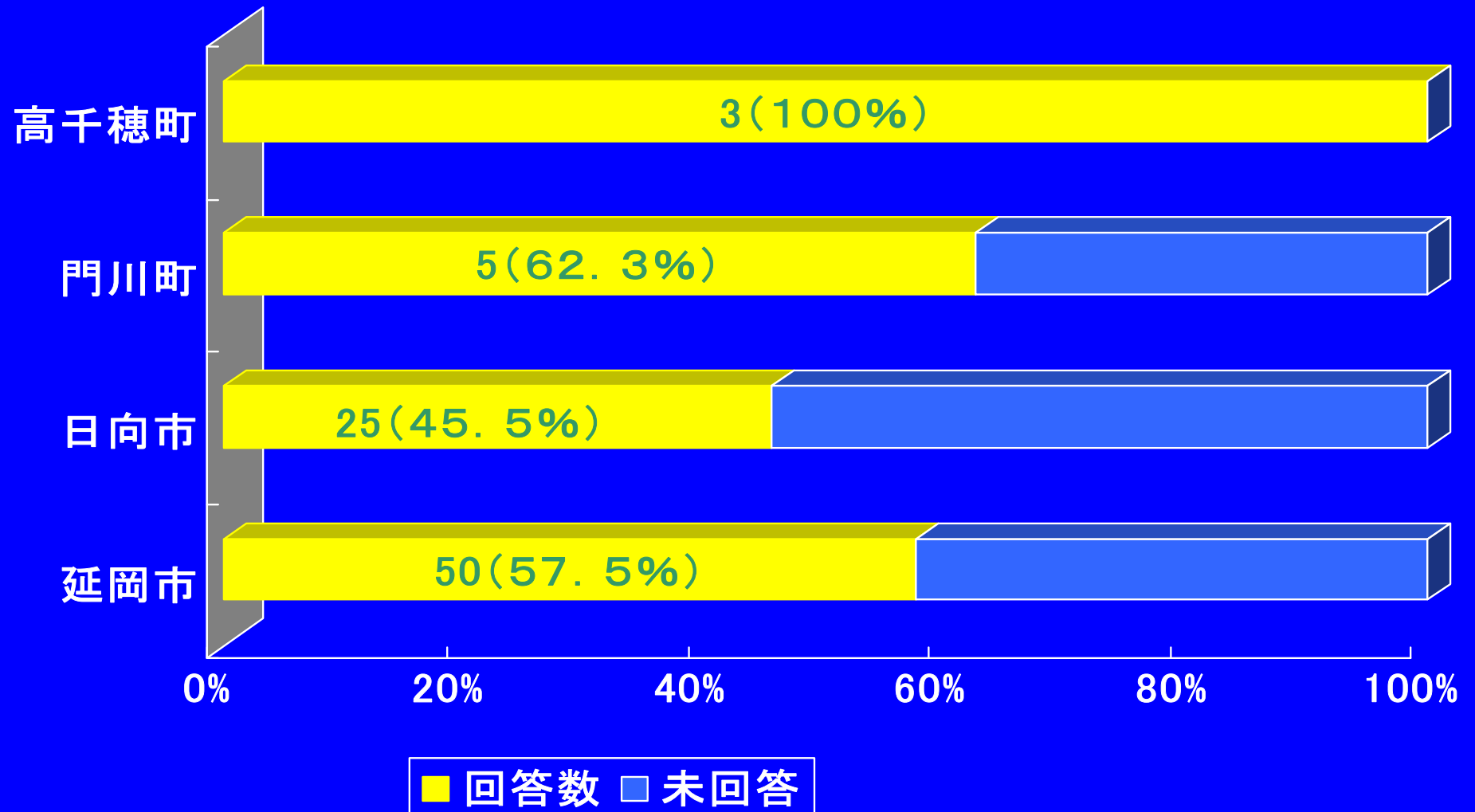
対象

延岡市・日向市・門川町・高千穂町
の不動産業者 145件

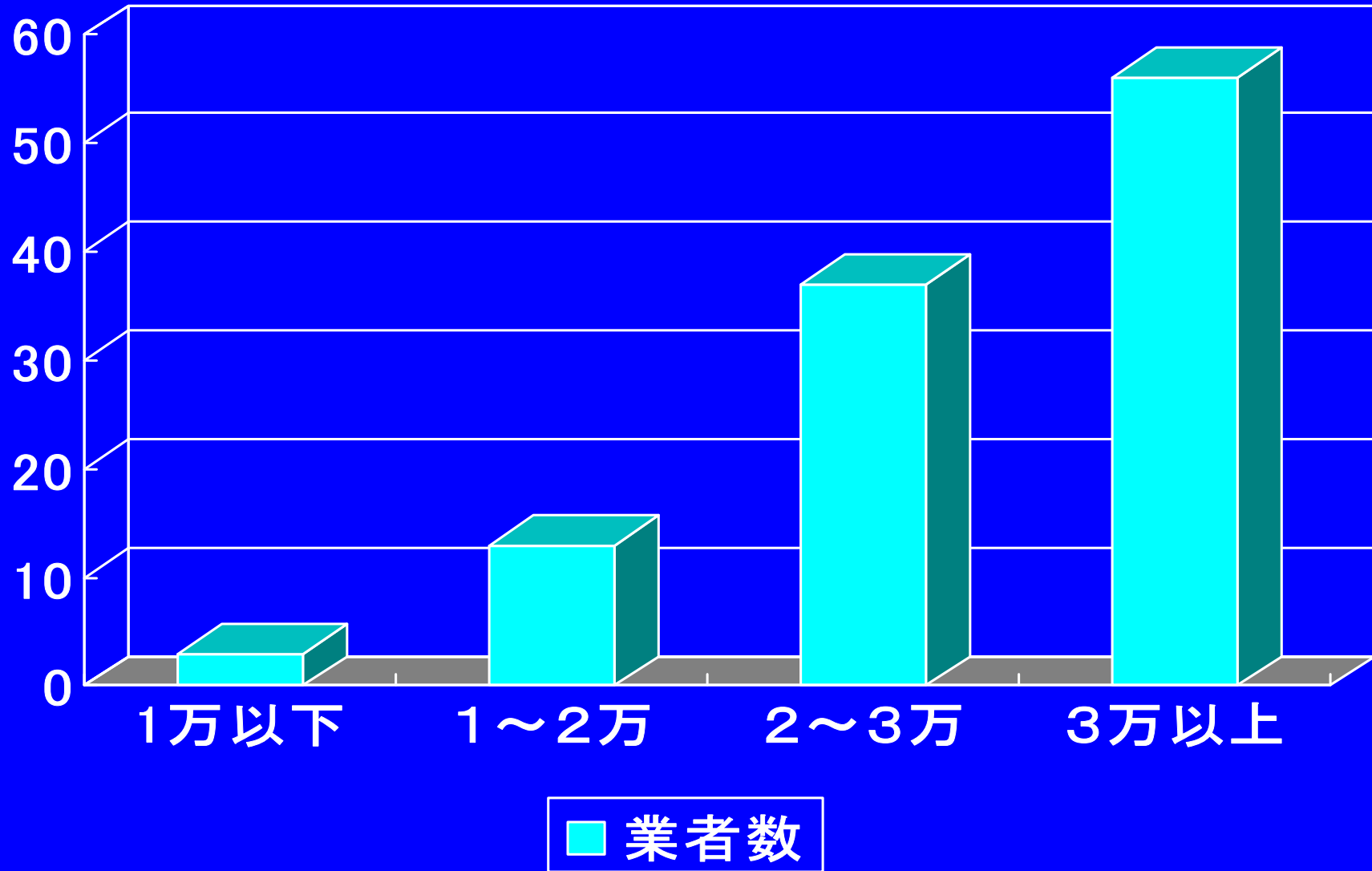
回答数(率) 83件 (57.0%)

調查結果

地区別回答率

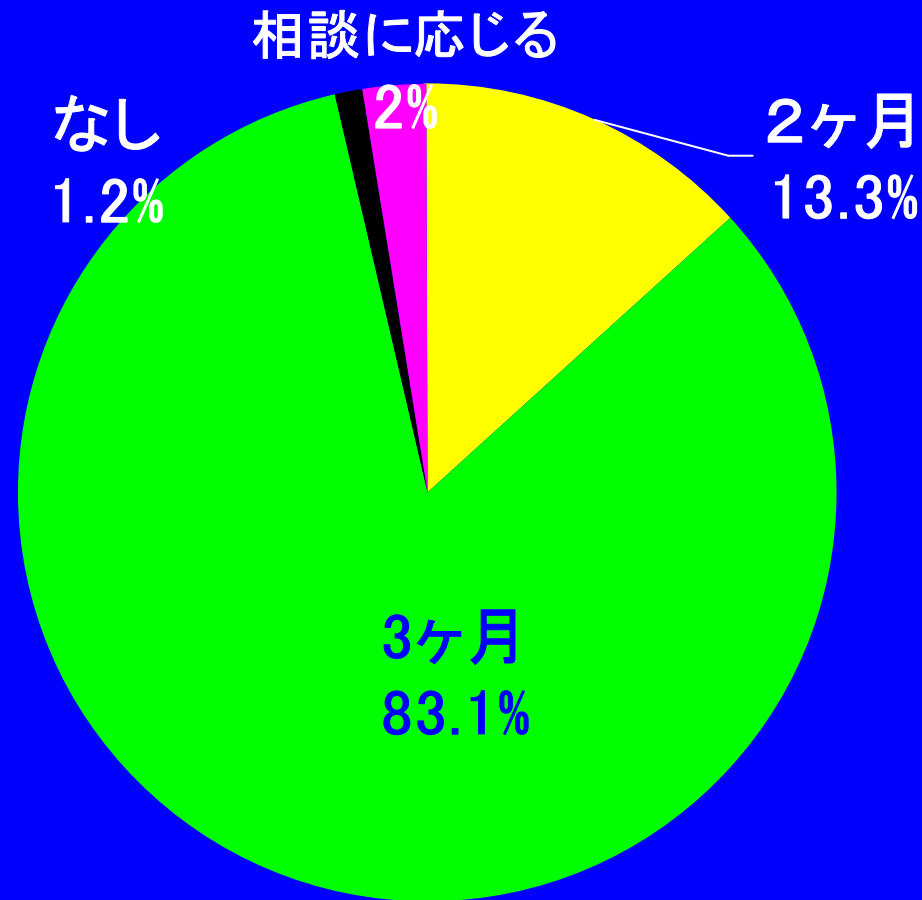


1K・2Kの家賃は？（複数回答）



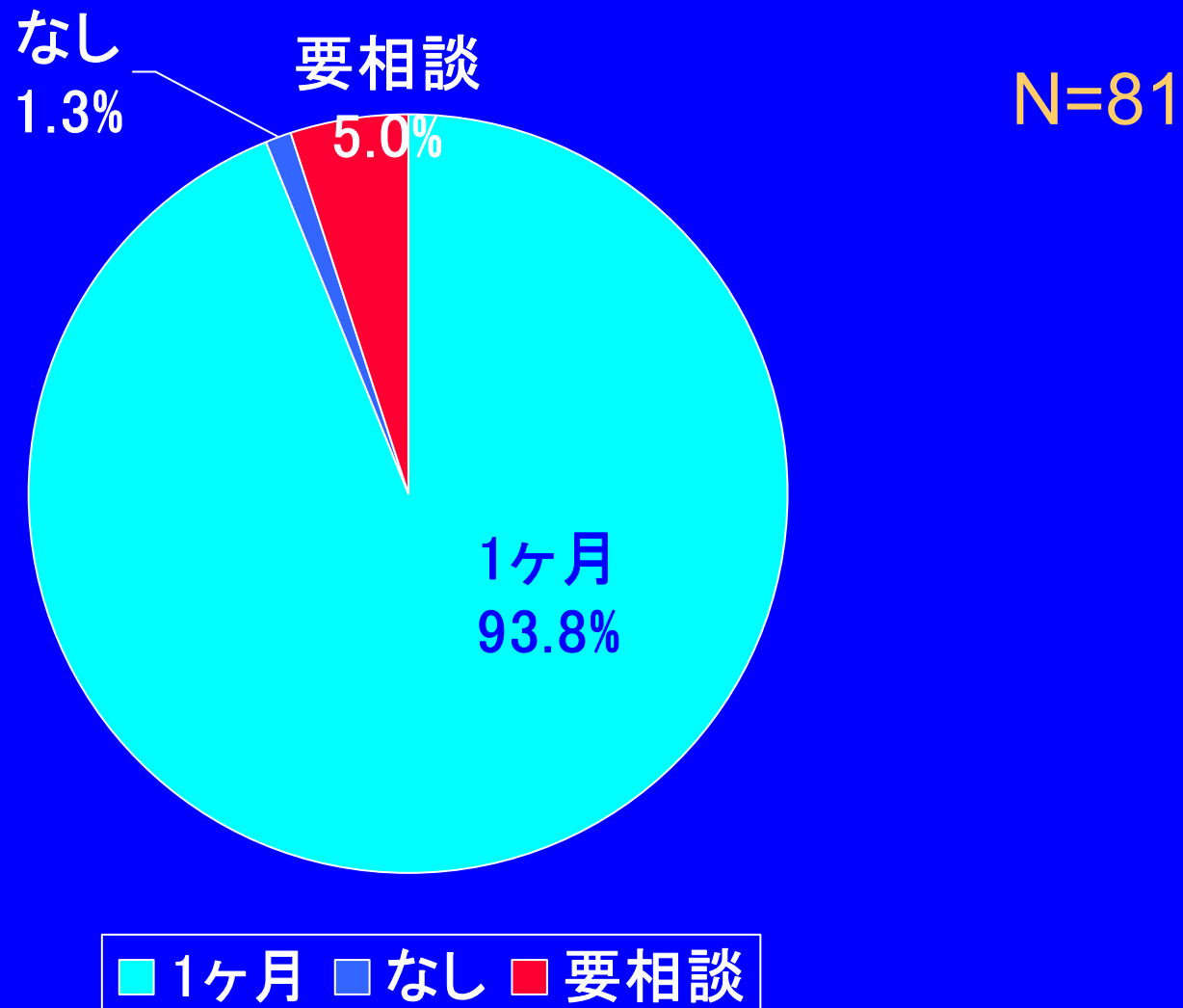
敷金は何か月分ですか？

N=83

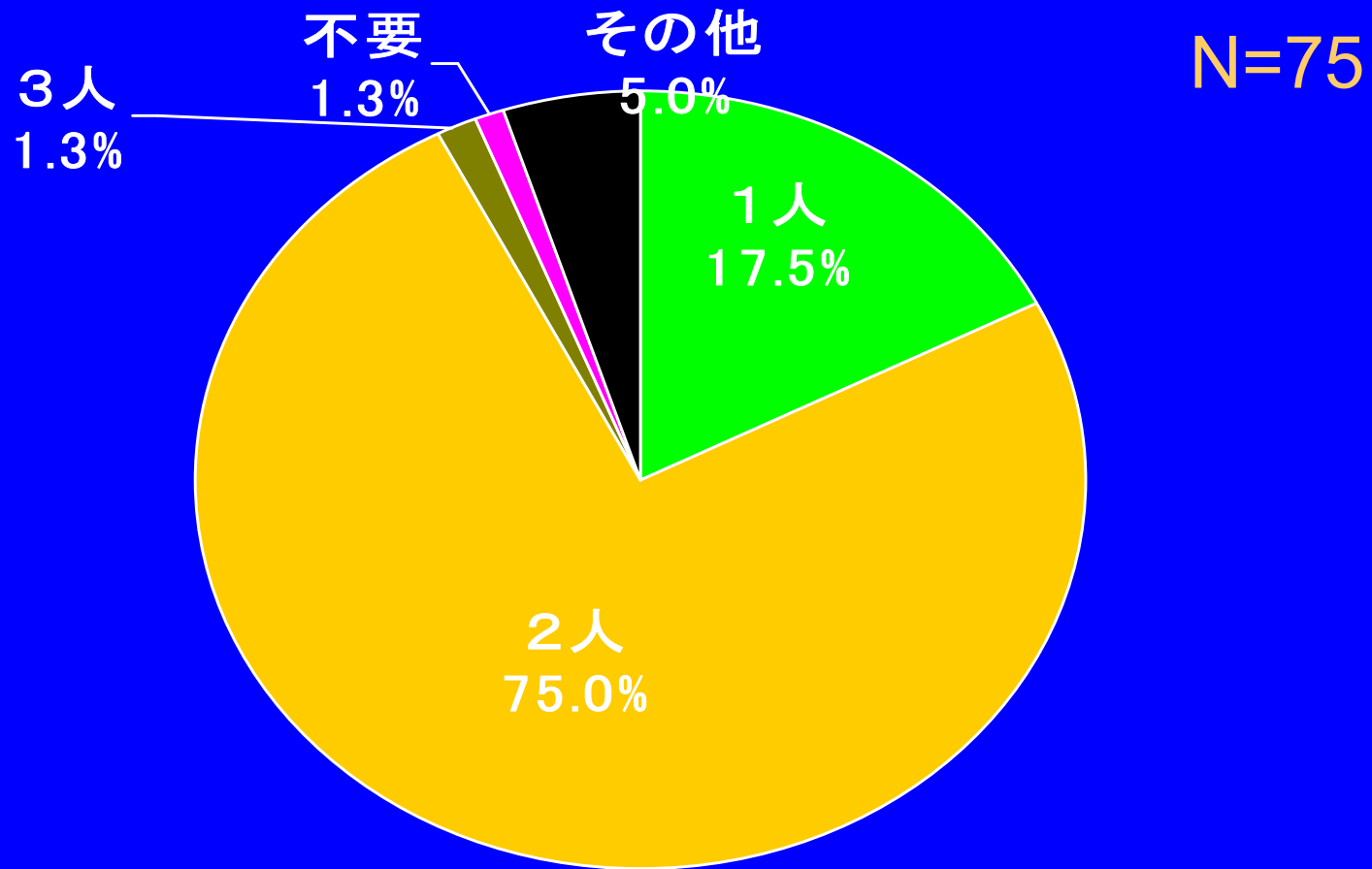


■ 1ヶ月 ■ 2ヶ月 ■ 3ヶ月 ■ 3ヶ月以上 ■ なし ■ 相談に応じる

仲介料はどのくらいですか？



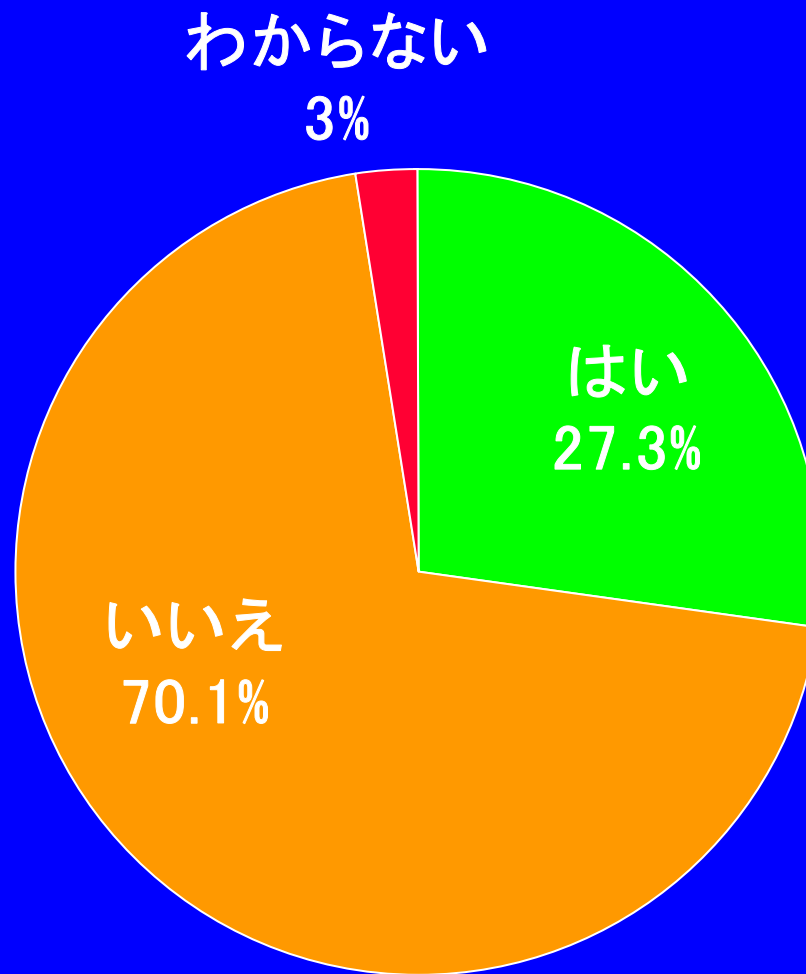
保証人は何人必要ですか？



■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 不要 ■ その他

今までの物件紹介の有無

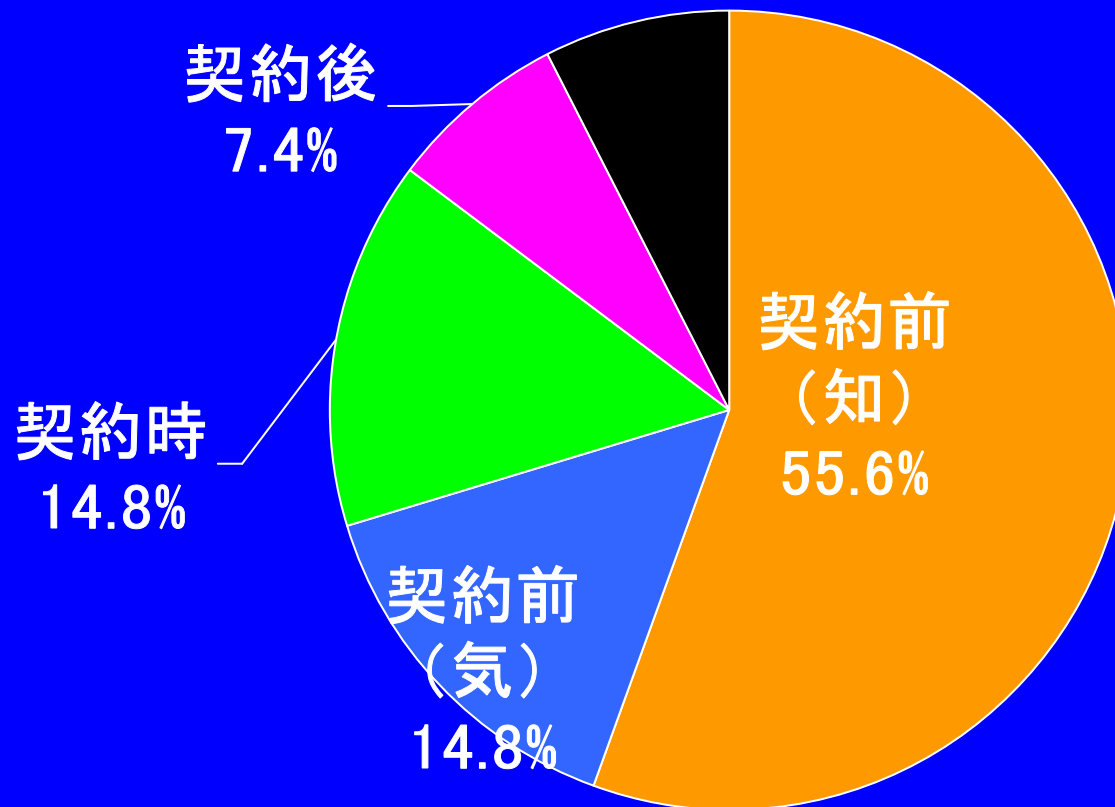
N=77



■ はい ■ いいえ ■ わからない

どの時期に障害者とわかったか

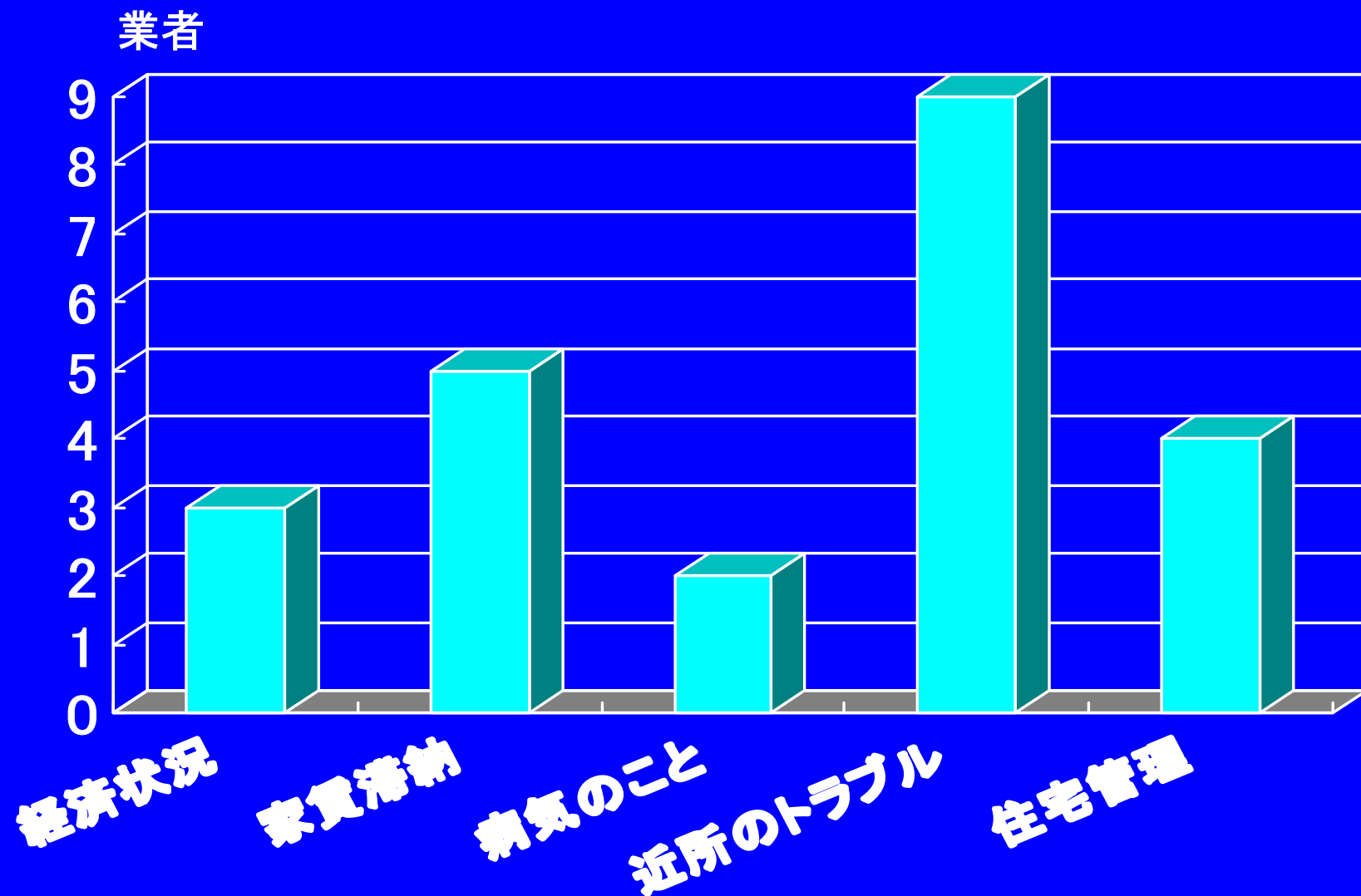
N=27



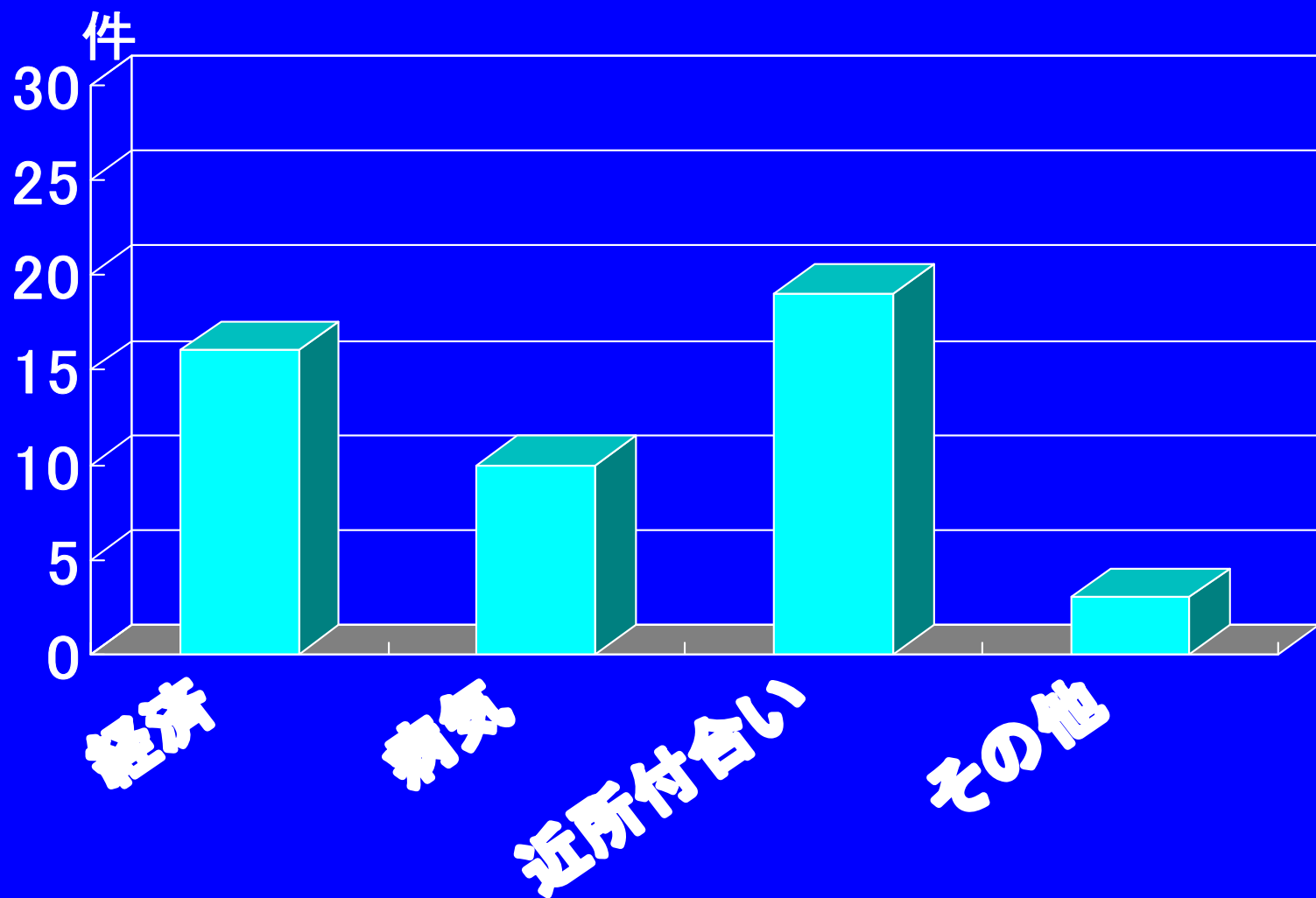
■ 契約前(知) ■ 契約前(気) ■ 契約時 ■ 契約後 ■ その他

住宅を貸して困った事

(複数回答)

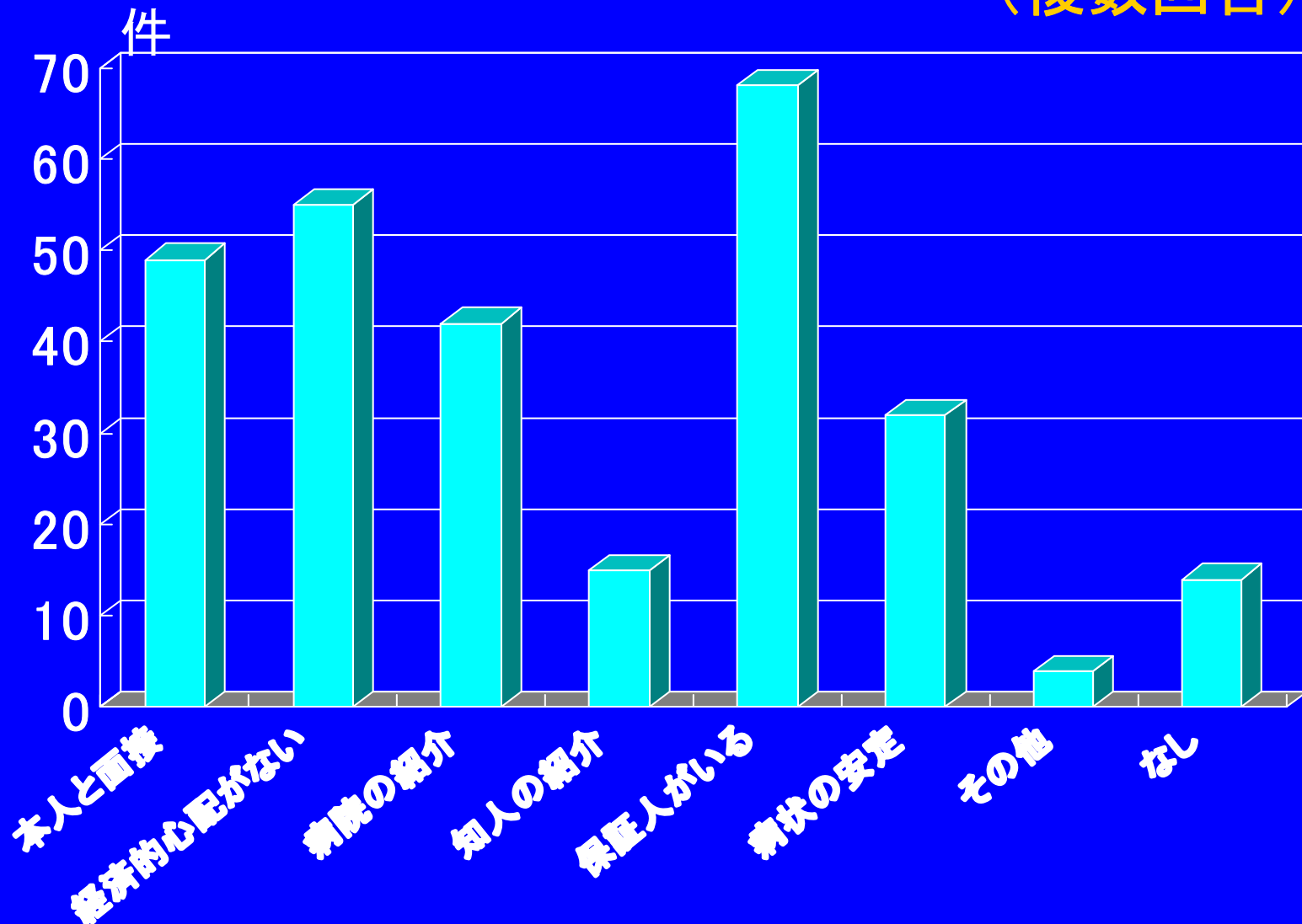


物件を賃貸する時の不安理由は (複数回答)



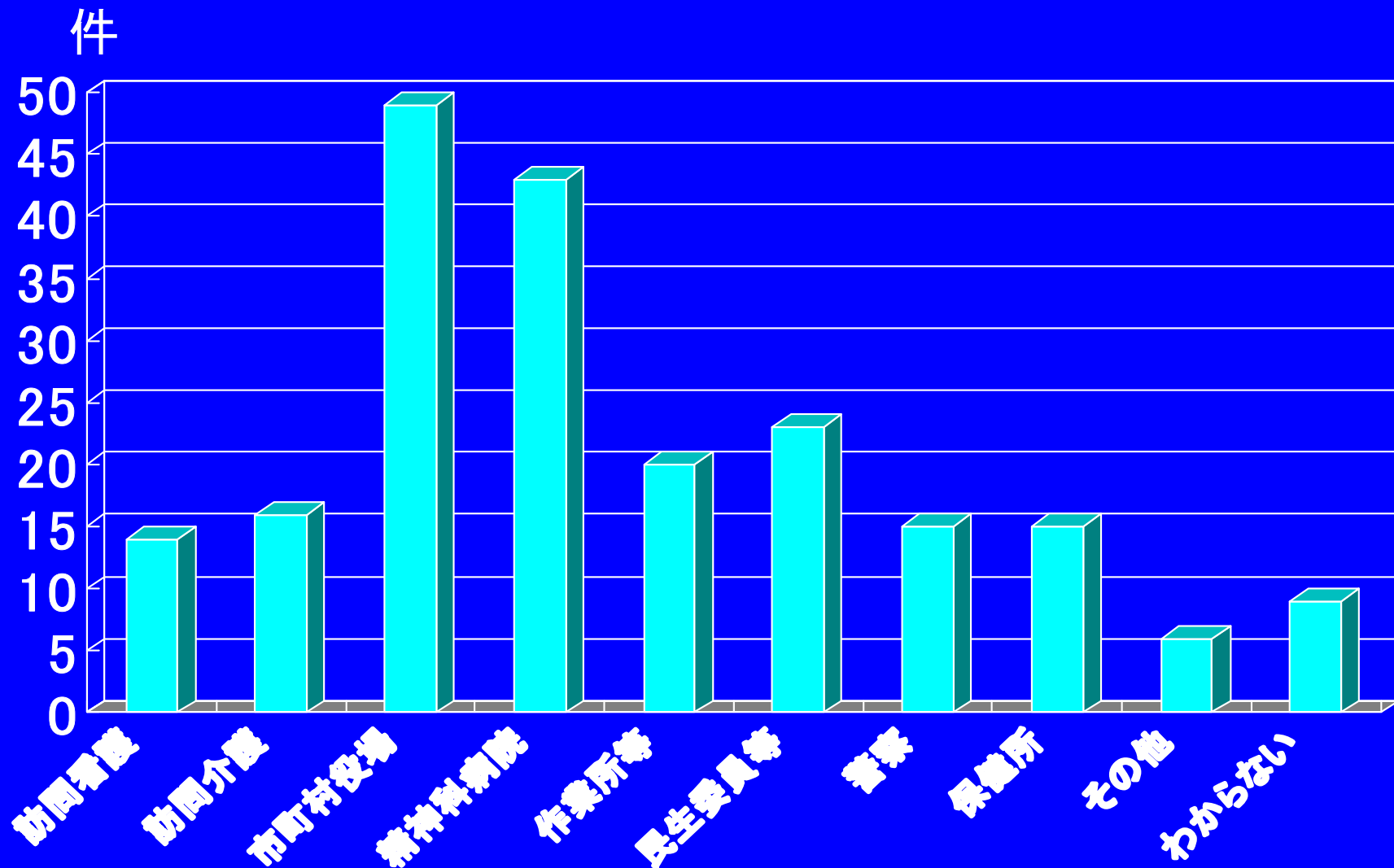
物件が紹介できる条件は？

(複数回答)

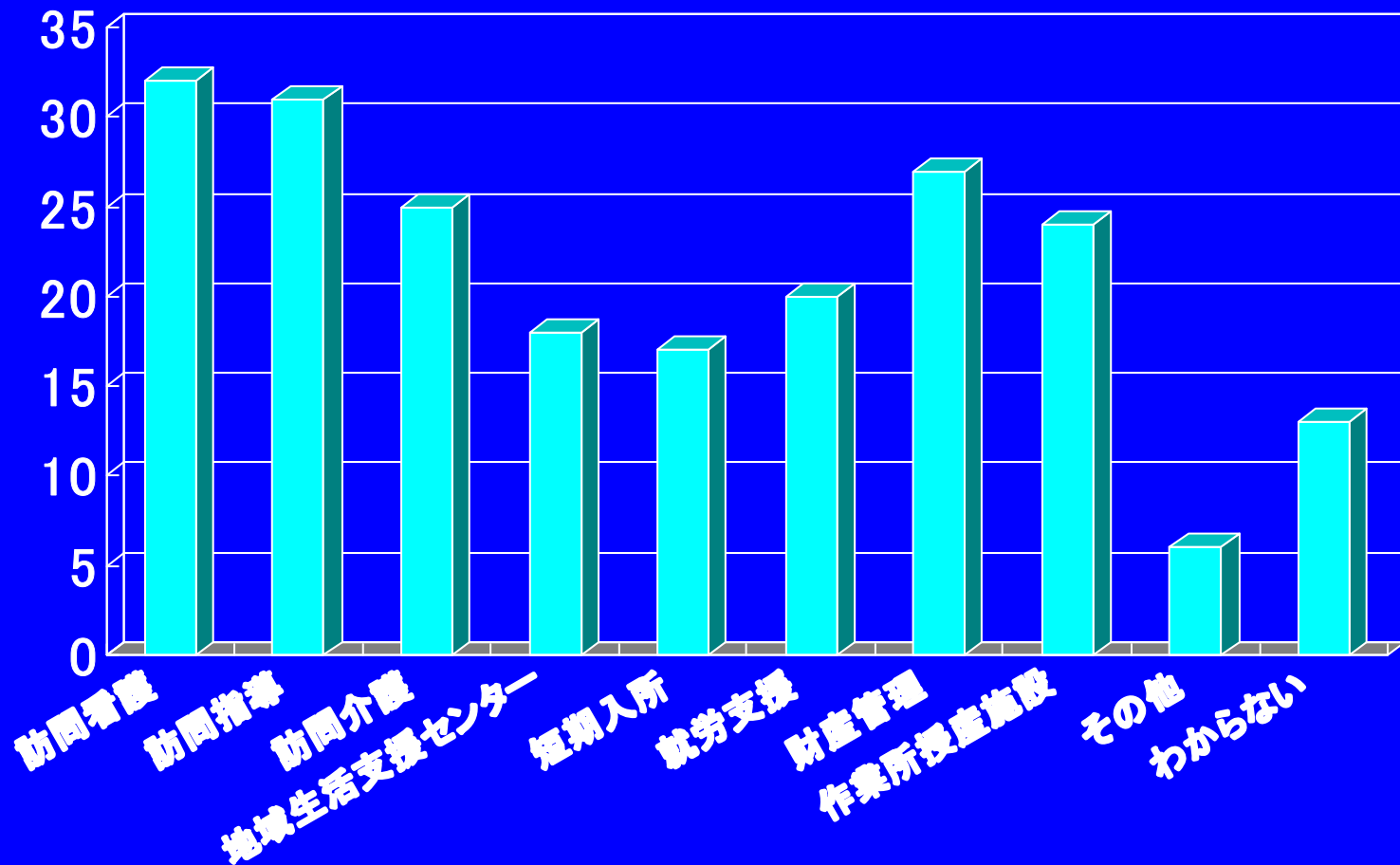


賃貸した場合の相談場所

(複数回答)



精神障害者が利用できる保健福祉サービスの認知度



今後の協力は

- ◆ 賃貸に応じる業者が25ヶ所あった
- ◆ 今まで障害者に接した事のある業者41件のうち、今後の賃貸すると答えた業者は20件だった (p<0, 01)

ま と め

- ◆住宅を借りる時には5か月分の家賃が必要
- ◆保証人は2人必要だが、相談できる制度もある
- ◆賃貸をした事のある業者は、半数が契約前から障害者であることを知っていた
- ◆賃貸する時に不安なことは、近所とのトラブルと経済的なことであった
- ◆家主の承諾も必要

賃貸相談を円滑にするためには

- ◆入院中に不動産業者に出向き面接により本人を理解してもらう
- ◆不動産業者が不安に思っている「近所とのトラブル」は退院前の生活支援会議で調整を十分に行う
- ◆退院後は、支援者と同様に不動産業者との連絡を密にするために支援センター等のネットワークが必要となる